

目標達成計画

作成日: 令和 6年 12月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	4	現在の事業所からの報告が主体の会議から、家族も関心があるテーマを設定して共に検討するなど、会議内容の工夫・充実を期待したい。	事業所の入居状況やサービス提供内容、職員の活動(研修・行事など)、事故報告、法人・事業所からのお願いなどが中心の会議から参加いただくすこやか支援課、自治会・ご家族様参加型の会議を開催する。	①毎月、事業所内会議で行っている勉強や参加している研修の内容発表や資料の配布、説明する。 ②認知症についての勉強などを行う。 ③参加者の希望に沿ったテーマを検討する。	4ヶ月
2	23	入居者本人を深く広く理解するために、また、新人職員が本人像を知るためにも、新しい情報のアセスメント追記に期待したい。	初回のフェイスシートに定期的に追記していく。	計画書の期間ごとのモニタリング、アセスメントを実施する際、新しい情報をフェイスシートに追記する。	3ヶ月
3	26	職員が介護計画を熟知し、目標に沿ったケアに取り組むことができるよう、介護計画とケアの実践を連動し、確認できる仕組みの整備に期待したい。	介護計画に沿ったサービス内容と日々のサービス提供の実施状況を記録に残す。	全ての生活記録は介護ソフトに適宜入力・保存しており、介護計画と連動されている。 介護職員が介護計画のサービス内容に沿ったサービス提供を実施した場合の有無(「○」のみ)を入力し、実施内容を確認する。	4ヶ月
4	35	リスク管理強化に向けて、入居者も含めた事業全体での避難訓練の回数を増やしていくことが望まれる。	年2回の総合消防訓練(火災)の他に自然災害にも対応できるよう、入居者を含めた避難訓練の回数を増やし、慌てることなく避難が出来るようにする。	入居者参加の地震、風水害想定避難訓練を実施する。総合消防訓練を含め、年4回以上行う。	5ヶ月
5					ヶ月